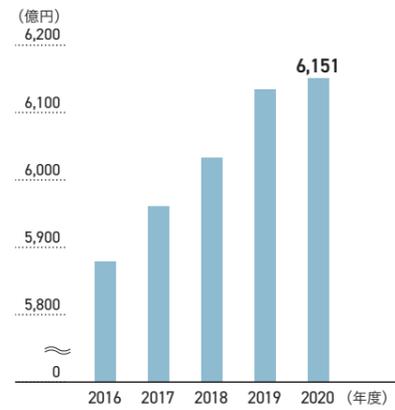


# 業績ハイライト

## 財務情報 [連結]

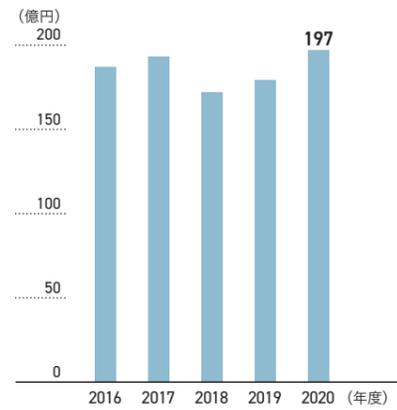
売上高 **6,151** 億円

継続して伸ばしています。2020年度は、内食需要の高まりなどにより乳製品セグメントが伸長し、2019年度より17億円の増収となりました。



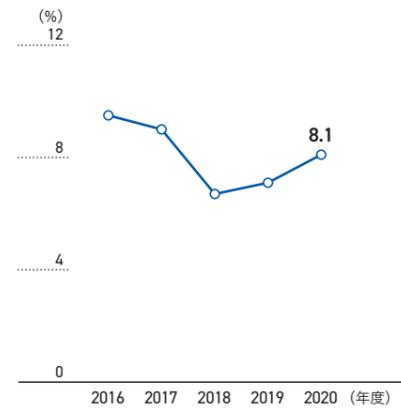
営業利益 **197** 億円

2020年度は、乳製品セグメントの家庭用商品における販売物量の増加や宣伝促進費の効率的な運用、固定経費の減少などにより、2期連続の増益となりました。



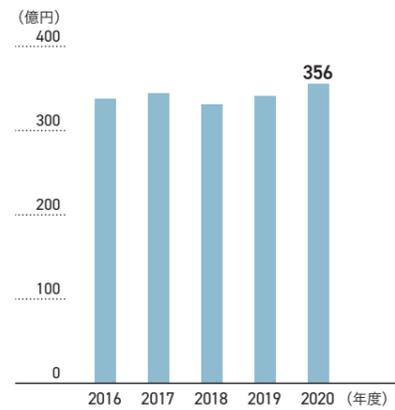
ROE (自己資本当期純利益率) **8.1** %

過去には天災による特別損失や飼料・種苗事業分野の減損損失などにより、当期純利益が減少しROEも低下していましたが、2期連続で当期純利益が増加し、ROEも改善しました。



EBITDA\* **356** 億円

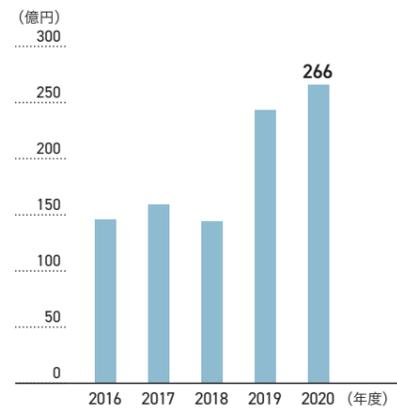
2020年度は営業利益と同様に伸ばしています。雪印メグミルクの連結値として過去最高となりました。



\* 利払い前・税引き前・減価償却前利益

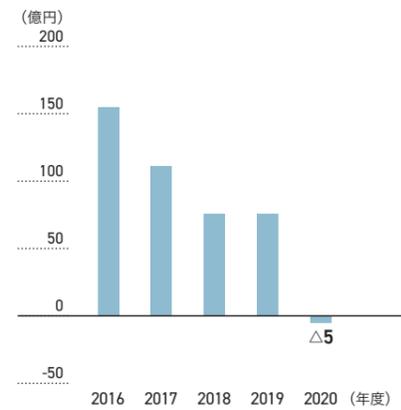
設備投資額 **266** 億円

2019・2020年度は、戦略投資である磯分内工場のバター新棟の建設などにより、大幅に設備投資額が増加しました。



フリーキャッシュ・フロー\* **△5** 億円

設備投資による投資キャッシュ・フローの支出増加により、フリーキャッシュ・フローは減少しています。



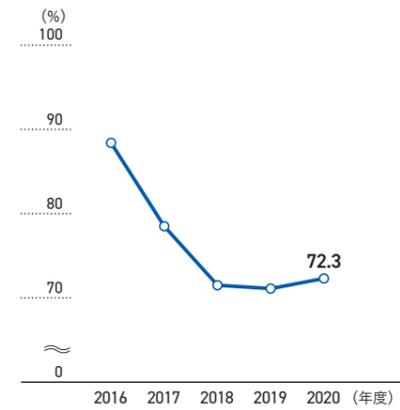
\* 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

CSRの取組み <https://www.meg-snow.com/csr/>  
ESGデータ集 <https://www.meg-snow.com/csr/esg-data/>

## 非財務情報 [雪印メグミルク単体]

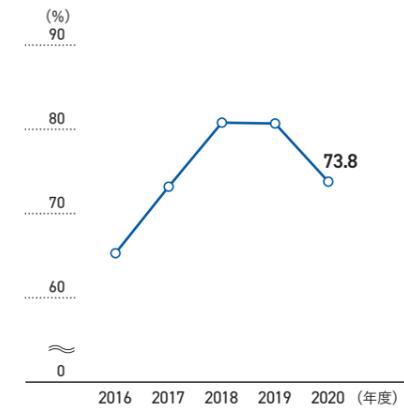
時間外労働時間の削減 (一般職、2015年度上期比) **72.3** %

新型コロナウイルス禍の影響に伴う需給調整や工場の新ライン立ち上げにより若干の増加となりましたが、引き続き業務改革推進による労働生産性向上に取り組んでいきます。



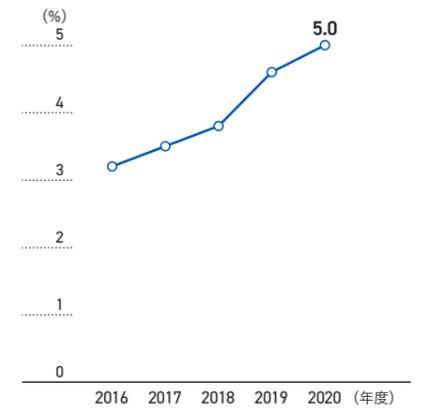
有給休暇取得率 (全従業員) **73.8** %

新型コロナウイルス禍による外出自粛や移動制限のため、使用機会が減少し、2019年度比で減少となりました。



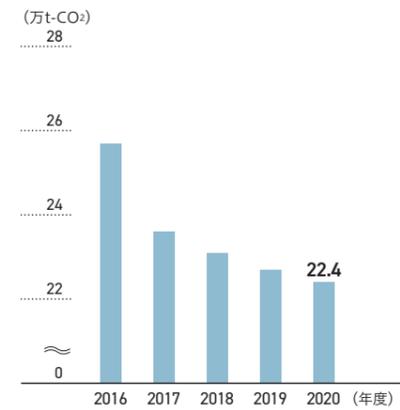
女性経営職比率 **5.0** %

人材の多様性の確保と能力発揮のため、女性活躍を推進しています。



CO<sub>2</sub>排出量 (スコープ1・2) **22.4** 万t-CO<sub>2</sub>

工場の安定稼働化、使用燃料の重油からガスへの置換などに取り組み、CO<sub>2</sub>の排出量は減少しています。



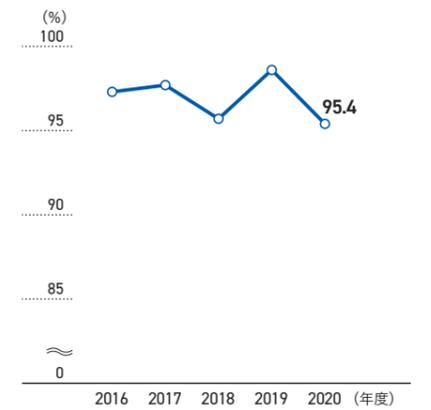
廃棄物排出量 **16.2** 千t

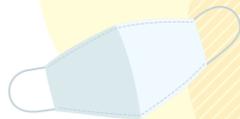
排水処理設備の更新や処理能力の向上により、汚泥の排出量を削減しました。



廃棄物リサイクル率 **95.4** %

2020年度は、工場の生産終了で発生した廃棄物が一部リサイクルできなかったため、2019年度より悪化しています。





# 新型コロナウイルス感染症への対応



## ■ 基本的な考え方

雪印メグミルクグループは、従業員の感染予防・安全確保に最大の力を注いでいます。そのうえで、事業継続への体制を整え、安全で安心していただける商品の安定供給に努め、食品メーカーとしての社会的責任を果たしていきます。新型コロナウイルス感染症拡大防止に細心の注意を払いながら、酪農から食卓までの「乳(ミルク)のサプライチェーン」を何としても維持するという使命を持って、酪農家の皆様が生産した良質な生乳を「一滴も無駄にしない覚悟」で一丸となって対応し、生乳廃棄を回避することにこれからも努めていきます。

## ■ 体制

新型コロナウイルス感染症発生以降、感染症対応要領に基づき、対応を進めてきました。その後、世界的な流行を受け、2020年3月4日に対策本部の設置を決定(WHOは同年3月11日にパンデミックを宣言)。以降、本件は対策本部が中心となり対応しています。

— 対策本部 —

構成員は常勤役員全員と関係業務所管部署の長で、必要都度開催。対策本部の対応は取締役会などでの協議を経ずに、速やかに組織としての意思決定を行うことができるようになっています(ただし、対策本部での対応内容は、後日開催される取締役会で報告します)。

## ■ 事業への影響

マイナス影響

- 学校給食用牛乳の需要減少
- 外食・ホテル・土産用などの原料や業務用商品の需要減少
- 原料や業務用乳製品の在庫増加
- 営業活動の制約

プラス影響

- 巣ごもり需要による家庭用商品の需要増加
- 家庭でのメニューの広がりによる新規需要の創出
- 在宅率上昇によるECビジネスの好調
- 在宅勤務・リモート会議など働き方改革の定着化

## ■ 感染予防を徹底し、工場の稼働を維持

工場では、感染拡大に伴う緊急事態宣言下であっても、様々な対策(常時マスクの着用、共用部分の消毒、オフィスや食堂での換気とソーシャルディスタンスの確保、工場見学の中止など)を行い、通常勤務体制を維持しながら稼働を続けています。また、緊急事態宣言下では多くの学校が休校となり、学校給食用の牛乳の需要が失われましたが、乳製品を増産することで生乳廃棄を回避することができました。



## — 雪印メグミルクグループの主な取り組み —

### 社会

#### 社会への貢献

札幌市と雪印メグミルク北海道本部が締結している「さっぽろまちづくりパートナー協定」の一環として、保健所や軽症者受け入れホテルなどに慰労と感謝の気持ちを込めて、牛乳とドリンクヨーグルトを提供しました。また、学生支援のプラットフォームである「ほっかいどう若者応援プロジェクト」を通じて、道内18大学に牛乳を提供しました。

#### 提供実績

- 札幌市保健所従事者へ「恵 megumi ガゼリ菌 SP 株ヨーグルト ドリンクタイプ」(100g)などを7,020本提供
- 札幌市内の軽症患者受け入れホテルに「北海道牛乳」(LL200ml)を5,640本提供
- 「ほっかいどう若者応援プロジェクト」に「北海道牛乳」(LL200ml)を3,528本提供

### 消費者

#### STAY HOME 応援企画

少しでも自宅での時間を楽しく過ごせるように、ホームページ内にある様々なコンテンツの中から選りすぐったものを「STAY HOME 応援企画」ページにまとめました。また、併せて公式Twitter・Instagramで乳製品セットが当たるSNSキャンペーンを実施しました。



#### 谷本先生監修

#### 運動+乳製品で体づくり応援プログラム

数多くのTV番組に出演され、筋トレで話題の近畿大学・谷本道哉先生に監修いただき、雪印メグミルクのオリジナル筋トレ動画を制作し、雪印メグミルクのホームページで紹介しました。



### 従業員

#### 在宅勤務の実施

緊急事態宣言以降、全国の事業所を基本、在宅勤務とし、商品の供給に必要な業務(生産・物流、お客様対応、各部門の責任者が特別に出社が必要と判断した業務)については、必要最小限の出勤体制で対応しています。在宅勤務者には、在宅勤務に必要なIT(情報技術)機材を充実させました。

#### 「#コロナに負けない!」従業員サイトによるコミュニケーション

「お互いに応援し合いながら、みんなでこの困難を乗り越えていきましょう!」というコンセプトで、新型コロナウイルス感染症流行の長期化を受けて、関係者からのメッセージ、グループの皆様が業務や生活に工夫して取り組む姿などを紹介し、手軽に共有するためのツールとして立ち上げました。

